

お客様各位

株式会社富士通ラーニングメディア

「IT パスポート試験 令和 5 年度分」の出題傾向分析について

日頃は、FOM 出版をご愛顧いただきまして、誠にありがとうございます。

情報処理推進機構(以下、IPA)より 4 月 16 日(日)に公開された「IT パスポート試験 令和 5 年度分」の出題傾向を分析しましたので、下記のとおり、お知らせいたします。

**【留意事項】**

IPAより公開されるのは、CBT 試験に出題されている問題から 100 問を抜粋したものです。この問題は、春期の試験に合わせて年 1 回公開されることになっています。なお、CBT 試験では、受験者ごとに様々な問題がランダムに出題され、同日同会場を受験しても、同じ問題が出題されるわけではありません。

以上の内容をご了承の上、分析結果をご利用ください。

## 記

**1. 出題傾向 ～「企業と法務」と「基礎理論(アルゴリズムとプログラミング)」の比重が高い～**

令和 5 年度分として公開された問題の「カテゴリ別」「問題形式別」の出題傾向は、次のとおりです。

※参考までに直近 2 回分(令和 3 年度分、令和 4 年度分)の数値も記載しています。

**●カテゴリ別**

カテゴリ	大分類	R3 出題数	R4 出題数	R5 出題数
ストラテジ系	企業と法務	11 問	18 問	19 問
	経営戦略	14 問	10 問	10 問
	システム戦略	10 問	7 問	6 問
	小計	35 問	35 問	35 問
マネジメント系	開発技術	6 問	4 問	5 問
	プロジェクトマネジメント	5 問	5 問	5 問
	サービスマネジメント	9 問	10 問	10 問
	小計	20 問	19 問	20 問
テクノロジー系	基礎理論	4 問	8 問	8 問
	コンピュータシステム	9 問	9 問	8 問
	技術要素	32 問	29 問	29 問
	小計	45 問	46 問	45 問
全合計		100 問	100 問	100 問

●問題形式別

問題形式	R3 出題数	R4 出題数	R5 出題数
用語(用語の説明や関連する用語を選択する問題)	48 問 (48%)	49 問 (49%)	53 問 (53%)
事例(具体的な事例に基づいて解答する問題)	45 問 (45%)	39 問 (39%)	34 問 (34%)
計算(数値や計算式を求める問題)	5 問 (5%)	9 問 (9%)	9 問 (9%)
表計算(表計算ソフトの利用が問われる問題)	0 問 (0%)	0 問 (0%)	1 問 (1%)
データベース(データベース設計の知識が問われる問題)	2 問 (2%)	3 問 (3%)	3 問 (3%)
合計	100 問 (100%)	100 問 (100%)	100 問 (100%)

※問題の分析はあくまでも弊社独自の判断によるものです。

2. FOM テキストの網羅率 ～92%の網羅率を達成～

令和 5 年度分として公開された問題のうち、テキストを学習していれば解答を導き出せる問題の比率を示した網羅率は、次のとおりです。

※参考までに直近 2 回分(令和 3 年度分、令和 4 年度分)の数値も記載しています。

●「令和 4-5 年度版 IT パスポート試験 対策テキスト&過去問題集」(型番:FPT2108)

テキスト内の解説の有無	R3 網羅率	R4 網羅率	R5 網羅率
テキストで解説している問題 (一般的な知識で解答可能なものを含む)	91 問 (90%)	85 問 (85%)	89 問 (89%)
テキストで解説しているが、補足が必要な問題	4 問 (4%)	7 問 (7%)	3 問 (3%)
テキストで解説していない問題	5 問 (5%)	8 問 (8%)	8 問 (8%)
合計	100 問 (100%)	100 問 (100%)	100 問 (100%)

※問題の分析はあくまでも弊社独自の判断によるものです。

3. 公開問題分析 ～擬似言語の出題が引き続きあり～

難易度は、前回と同様のレベルでした。前回と同様に、最新のシラバス Ver.6.0 で追加されたプログラミング的思考力を問う問題として「擬似言語」の問題が出題されています。

今回の試験問題の特徴は、次のとおりです。

- 最新の「シラバス Ver.6.0」では、学校教育でプログラミング教育が段階的に実施されている状況などを踏まえ、プログラミング的思考力として擬似言語の問題が引き続き出題されました。  
今回は、前回(令和4年度分)と同様、擬似言語に関する出題が2問ありました。出題内容としては、問題文で与えられたプログラム仕様を正しく理解し、擬似言語で記述されたプログラムの処理手順を追いながら解答を求める(=プログラミング的思考力が必要となる)問題内容でした。プログラムを読み解くうえで、擬似言語でどのように記述したらよいか(擬似言語の記述形式)も同時に問われる問題でした。問題を解くのに時間を要することや、アルゴリズムの基本構造の理解を前提とし、問題文で与えられたプログラム仕様からプログラム中に入るコードを導いたり、処理結果を求めたりと、難易度は高いといえます。  
IPA から「擬似言語の記述形式」に関する資料が公開されていますので、擬似言語の記述形式(※1)については、あらかじめ参照し、理解しておく必要があります。なお、弊社のテキストでも、この内容をもとに解説しています。  
※1:「試験で使用する情報技術に関する用語・プログラム言語など」Ver.5.0  
→「別紙1 擬似言語の記述形式(ITパスポート試験用)」を参照  
[https://www.ipa.go.jp/shiken/syllabus/ps6vr7000000i9dp-att/shiken\\_yougo\\_ver5\\_0.pdf](https://www.ipa.go.jp/shiken/syllabus/ps6vr7000000i9dp-att/shiken_yougo_ver5_0.pdf)
- 今回も「技術要素」の中分類「9-5 セキュリティ」からの出題数が19問と多かったです。なお、前回の令和4年度分では18問、前々回の令和3年度分では20問であり、今回も継続して約2割程度出題されています。主な出題内容として、セキュリティ脅威では「ドライブバイダウンロード」「バックドア」「ソーシャルエンジニアリング」など、セキュリティ対策・技術では「IDS」「ISMS」「デジタル署名」「情報セキュリティの三大要素」「セキュリティバイデザイン」「バイオメトリクス認証(生体認証)」「リスクマネジメント(リスク共有)」「クリアデスク」「情報セキュリティ方針」「HDD 廃棄時の情報漏えい防止策」「ハイブリッド暗号方式」「耐タンパ性」「セキュアブート」などが出題されており、セキュリティに関する幅広い知識が要求されました。今後も同様に高い比重で出題されることが予測されるため、試験対策として用語の意味をしっかりと理解しておく必要があります。
- 今回も「企業と法務」からの出題が19問と、前回同様、多かったです。企業と法務からは、「デジタルトランスフォーメーション(DX)」「第4次産業革命」「CIO」「IPO」「主成分分析」「定量発注方式」「著作権法」「ソーシャルメディアポリシー」「フォーラム標準」「不正アクセス禁止法」「資金決済法の前払式支払手段」「不正競争防止法」「コンプライアンス」「GDPR」など、用語の概要を問う問題が幅広く出題されています。
- 問題形式で見ると、「用語」は53問、「事例」は34問、「計算」は9問となっています。「計算」は前回同様、約1割の出題で、「用語」と「事例」の比率が若干変更されました。なお、事例の問題を解答するには、単純な用語の暗記だけではなく、関連する周辺の知識まで理解しているかどうか鍵となります。ただし、試験としては、全体を通して引っ掛け問題や考え込むような複雑な問題はほとんどなく、比較的わかりやすい問題といえます。
- 毎回シラバスに記載されていない内容が出題されますが、今回も前回同様、8問出題されました。「インバウンド需要」「総資本回転率」「バブルチャート」「ISMS クラウドセキュリティ認証」「PSK」「オートラン」「VoIP」「スマートメーター」に関する問題が出題されています。シラバスに記載のない用語については、弊社のテキストでも取り上げていなかったため、今回の網羅率は92%となりました。

#### 4. 試験動向 ～初の25万人超えに～

##### ●年間の応募者数

令和4年度の実験者数は、昨年度に比べて微増でしたが、初めて25万人を超えて253,159名でした。令和3年度が約67%増加の過去最高でしたが、令和4年度も引き続き高水準でした。なお、情報処理技術者試験には、基本情報処理技術者などの多くの試験区分がありますが、ITパスポート試験は1番多い状況です。また、年間実験者数が25万人を超えるのは、平成21年度の実験創以来、初となりました。

【ペーパー方式からCBT方式へ移行した平成24年度以降】

年度	上期	下期	合計
平成24年度	30,878名	38,105名	68,983名
平成25年度	32,869名	41,522名	74,391名
平成26年度	33,896名	44,824名	78,720名
平成27年度	35,696名	45,253名	80,949名
平成28年度	37,513名	48,792名	86,305名
平成29年度	40,554名	53,744名	94,298名
平成30年度	45,221名	61,951名	107,172名
令和元年度	52,924名	64,999名	117,923名
令和2年度	52,312名	94,659名	146,971名
令和3年度	91,193名	153,061名	244,254名
令和4年度	95,441名	157,718名	253,159名

##### ●月別実験者数

月別実験者数は、上期よりも下期の方が多くなり、かつ年度末にかけて多くなる傾向があります。令和4年度の月別実験者数は、4月から3月までの12か月のうち、4月と3月を除く10か月で、同月別過去最高を更新しました。

令和2年度	実験者数	令和3年度	実験者数	令和4年度	実験者数
令和2年4月	1,613名	令和3年4月	14,683名	令和4年4月	5,897名
令和2年5月	0名	令和3年5月	10,844名	令和4年5月	12,660名
令和2年6月	11,326名	令和3年6月	14,323名	令和4年6月	16,466名
令和2年7月	11,488名	令和3年7月	17,057名	令和4年7月	20,148名
令和2年8月	13,299名	令和3年8月	16,662名	令和4年8月	19,205名
令和2年9月	14,586名	令和3年9月	17,624名	令和4年9月	21,065名
令和2年10月	13,266名	令和3年10月	18,885名	令和4年10月	20,119名
令和2年11月	13,690名	令和3年11月	17,816名	令和4年11月	17,634名
令和2年12月	15,938名	令和3年12月	22,345名	令和4年12月	23,165名
令和3年1月	12,857名	令和4年1月	20,425名	令和5年1月	23,886名
令和3年2月	16,711名	令和4年2月	28,800名	令和5年2月	31,073名
令和3年3月	22,197名	令和4年3月	44,790名	令和5年3月	41,841名
合計	146,971名	合計	244,254名	合計	253,159名

※シラバス Ver.6.0の適用時期:令和4年4月～

<【ご参考】教材ラインナップ ～目的別に万全のラインナップ～>

弊社の「ITパスポート試験」教材のラインナップ(発売中)は、次のとおりです。合格を目指す方の習熟度や利用シーンなどに応じてご用意しており、独学はもちろん、学校での授業の教科書としても利用できる構成です。

No.	教材名	型番 価格(税込)	説明
1	令和 4-5 年度版 IT パスポート試験 対策テキスト&過去問題集	FPT2108 2,420 円	試験主催元から提供されているシラバスに沿った目次構成で、シラバスに記載されている用語を詳細解説する「教科書」。出題範囲の体系的な学習に最適。シラバス「Ver.6.0」対応版。 本試験(CBT 試験)さながらに学習できる「過去問題プログラム」をCD-ROM 添付し、過去問題 800 問(8 回分)を収録。全問に詳細な解説付きで、自動採点機能、弱点補強機能、問題検索機能等あり。 ※添付：自動採点付き過去問題プログラム CD-ROM、別冊 予想問題 解答と解説 ※購入特典：過去問題 800 問を Web で学習できる Web 試験付き(PC・スマホ・タブレット対応)
2	IT パスポート試験 書いて覚える 学習ドリル	FPT2110 1,210 円	覚えておくべき用語について、解答を書き込みながら学習を進められる補助教材。重要用語を穴埋め形式で、解答を書き込んで覚えられる。 ※添付：別冊 解答
3	IT パスポート試験 直前対策 1 週間完全プログラム	FPT2109 1,430 円	試験頻出の用語に絞って解説した、試験直前対策として最適な暗記用の用語集。携帯に便利なポケットサイズ。添付のカラーフィルムを重ねて、重要用語を効率よく覚えられる。 ※添付：カラーフィルム

※上記 No.1～3 は、電子書籍でもご提供しています。

※詳しくは、<https://www.fom.fujitsu.com/goods/itpass/index.html> をご覧ください。



以上